

たかおか

市議会 だより

No.42 3月定例会号
平成28年(2016年)5月1日発行

3月定例会のあらまし	2P
代表質問	5P
個別質問	6P
総括質問	11P
委員会の動き	12P

新高岡駅から
かがやきに乗りよう!!



写真提供：フォト・セッションクラブ

編集■広報広聴委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



平成27年5月1日 撮影

伝統を受け継ぐ高岡町民の心意気 高岡御車山祭

平成28年度予算

総額1394億8492万円を可決

代表・個別・総括質問に17人が登壇

③月定例会は2日に開会し、23日に閉会しました。市長から平成28年度予算をはじめ56議案が、議員から意見書6議案、新高岡駅への「かがやき」定期便化に関する決議1議案が提出され、うち61議案を可決・承認・同意しました。今定例会では、代表・個別・総括質問に17人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

**可決・承認・同意した
主な議案等**

条例

行政不服審査法施行条例

行政不服審査法の改正に伴い、行政不服審査会の設置や、審理員に提出された書類等の交付手数料などについて定めるもの。

保育所条例の一部改正

福岡西部幼稚園・保育園の認定子ども園への移行に伴い、福岡西部保育園を廃止するもの。また、児童数の変動に伴い、保育所の定員変更を行うもの。

認定子ども園条例

中央保育園 50名→60名
就学前の子どもに関する教育、保育等の一体的な提供を行う認定子ども園に移行する

ため、定員及び開園時間等について定めるとともに、市立幼稚園条例を廃止するもの。
福岡西部幼稚園・保育園
↓福岡あおぞら子ども園

消費生活センターの組織及び運営等に関する条例

消費者安全法の改正に伴い、消費生活相談員の専門性を明確にし、消費生活相談の質的向上と水準の確保を図り、信頼性の向上に資するため、消費生活センターの組織及び運営に関する事項について整備するもの。

福岡にぎわい交流館条例

自主的な活動及び交流の場の提供による住民相互の連帯感の醸成と福岡駅前地域の活性化を図るため、福岡にぎわい交流館を設置するもの。また、交流館内に福岡中央公民館分室の機能を移設するもの。



議場見学 市議会の仕組みを学ぶ小学生

産業の振興及び小規模企業の持続的発展に関する基本条例

産業振興と小規模企業者の持続的な発展について、基本理念や市の責務、事業者その他産業関係者の役割を明らかにすることにより、本市の産業振興等を総合的かつ一体的に推進するもの。

市営駐車場条例の一部改正

(1)新高岡駅周辺駐車場
利便性の向上を図るため、新幹線開業後の利用状況や課題等を踏まえ、料金体系及び割引制度の改定を行うもの。
①平面北駐車場を除く駐車場の
②全駐車場を1時間無料化
③利用促進のため、新幹線利用者への割引制度を見直し
(施行期日)
平成28年7月1日

議決結果一覧

初日提出議案

平成28年度 当初予算

- ◇一般会計……………賛成多数で可決
- ◇国民健康保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇获布奨学金事業会計……………全会一致で可決
- ◇駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業団地造成事業会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇後期高齢者医療事業会計……………賛成多数で可決
- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業用水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇簡易水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇下水道事業会計……………賛成多数で可決

条例

- ◇附属機関に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇建築審査会条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇行政不服審査法施行条例……………全会一致で可決
- ◇行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例……………全会一致で可決
- ◇人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇職員の退職管理に関する条例……………全会一致で可決
- ◇特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇職員の給与に関する条例等の一部改正……………全会一致で可決
- ◇手数料条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇保育所条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇認定子ども園条例……………全会一致で可決
- ◇指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決

(2)高岡駅周辺駐車場

中心市街地の回遊性を高めるため、1年間の社会実験として、高岡、高岡中央、御旅屋、オタヤグリーンパーキングの4駐車場について、1時間以内に出場した車の駐車料金を無料とするもの。

(期間) 平成28年4月1日
～ 29年3月31日

その他

工事請負契約の変更

(仮称) 福岡駅前地域交流センター新築工事
*インフレスライド条項の適用及び設計内容の見直し等により契約金額を変更するもの。

(変更前) 3億5111万円
(変更後) 3億5678万円

財産の譲与(建物)

財産の無償貸付(土地)
いずれも、牧野みどり保育園の民営化に伴うもの。

引受人

学校法人高岡第一学園

指定管理者の指定

スポーツ健康センターについて指定管理者を指定するもの。

報告

専決処分の報告

地方税法施行規則の一部を改正する省令等の一部改正に伴い、市税賦課徴収条例の一部を改正したもの。

人事

副市長

村田 芳朗氏(新任)
(富山市銀嶺町)

人権擁護委員

青木 英二氏(新任)
(福岡町三口市)

澤 豊志氏(再任)

津幡 敬子氏(再任)
(醍醐)

山下 美智子氏(新任)
(野村)

(五十里)

討論要旨(発言順)

○日本共産党

《反対》

マイナンバー制度のシステムの不具合が全国で相次いでおり、多くの住民が不安を感じている。制度の見直し・凍結・中止を国に要請すべきである。また、市債の償還が財政を圧迫している中、高岡駅前東地区整備等への多大な税金投入が予定されている。事業費の徹底した見直しとコスト削減を行い、定住促進対策や交通弱者対策等、市民生活に直結した分野の予算措置を強化すべきである。

国民健康保険税、介護保険料、下水道使用料について、あらゆる財政努力による引き下げを求める。後期高齢者医療事業では保険料負担の軽減と制度の廃止を求める。

○市民同志会

《賛成》

厳しい財政状況下では、新たな財源の確保に努めるとともに、必要な投資の継続が重要である。人口減少・少子高齢化が急速に進展する中、「未来高岡」総合戦略に掲げる施策や、新たな総合計画を効果的に展開するための積極的な予算編成を行ったことを評価したい。

これまでの将来への投資を本市の発展につなげ、魅力ある都市となり、誰もが住みやすいまちとなるためには、新幹線速達タイプかがやきの新高岡駅への定期便化が不可欠である。乗降客数の増加に向け、市民をはじめ関係自治体や経済界と一体となり、これまで以上に積極的に取り組まれることを強く要望する。

○市政高岡

《賛成》

市税の減少、高岡駅前東地区整備等により、市債残高が過去最高となるなど、依然厳しい予算編成となっており、扶助費や市債の償還に充てる公債費が増加している。まち・ひと・しごと創生へ向けた様々な施策により、都市機能を集約し、利便性の高いまちの実現につなげていくと同時に、安心・安全なまちづく

◇指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等に関する条例の一部改正
全会一致で可決

◇市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正
全会一致で可決

◇廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正
全会一致で可決

◇消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の一部改正
全会一致で可決

◇福岡にぎわい交流館条例
全会一致で可決

◇産業の振興及び小規模企業の持続的発展に関する基本条例
全会一致で可決

◇商工業振興条例の一部改正
全会一致で可決

◇市営駐車場条例の一部改正
全会一致で可決

◇ふくおか総合文化センター条例の一部改正
全会一致で可決

その他

◇火災予防条例の一部改正
全会一致で可決

◇工事請負契約の変更(仮称)福岡駅前地域交流センター新築工事
全会一致で可決

◇財産の譲与(建物)
全会一致で可決

◇財産の無償貸付(土地)
全会一致で可決

◇指定管理者の指定(スポーツ健康センター)
全会一致で可決

報告

◇字の区域の変更
全会一致で可決

◇富山県市町村総合事務組合規約の変更
全会一致で可決

2日目追加提出議案

平成27年度 補正予算

◇専決処分(市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の一部改正)
全会一致で承認

平成27年度 補正予算

◇一般会計
賛成多数で可決

◇国民健康保険事業会計
全会一致で可決

*インフレスライド条項：特別の事情により工期内に日本国内において急激なインフレーションを生じ、請負代金額が著しく不適当となったとき、発注者及び受注者は、請負代金額の変更を請求することができる。

りにも取り組まなければならぬ。市税収入が減り続け、国からの交付金に頼る予算編成が続く中、行財政改革の推進による合理化、効率化を図り、事業の見直しを行うことが必要である。市民に対して、しっかりと情報公開し、透明性のある行政運営を要する。

○公明党

《賛成》

国の経済再生、地方創生への期待が膨らむ一方、市税や地方交付税の伸び悩み、公債費や扶助費の増加が続いている。財源確保が厳しい状況の中、事務事業の見直しや、市税収納対策の強化、公共施設のマネジメントの推進等、効率的、効果的な健全財政に積極的に取り組んでもらいたい。包括的がん医療センターの整備や、認知症初期集中支援チームの設置、多機能型保育調査事業、延長保育、病児保育の充実等は、力強い支援と評価する。利便性を高めるための都市基盤整備等が重要であり、おもてなしの意識を醸成しながら、観光客増加を図ることが求められている。

○社民党議員団

《賛成》

身の丈に合った後世に負担を強いることがない財政構造を早急に確立し、持続可能で健全な財政運営に努めるよう強く求める。少子高齢化、人

口減少への対策は、喫緊の課題である。特に若者、女性の雇用と所得の安定や子育て支援の充実等、魅力ある政策を強力に推進してもらいたい。また、飛越能の玄関口として、県西部6市の牽引役となり、引き続き効果が継続できる施策の推進を求める。

住み続けたいまち、安心・安全の高岡を目指し、行政サービス

の質の低下を招くことなく地域の特性を活かした、魅力的で個性ある未来高岡へのまちづくり推進を要望する。

○自民友進会

《賛成》

急速な少子高齢化という構造的課題や、持続可能な社会保障制度の確立と一体となった財政の健全化等、多くの課題に直面しており、真の総合力発揮が求められる。高岡駅前東地区整備等、にぎわいの核を形成するため早急な整備を求める。また、新高岡駅周辺のアクセス環境の改善等、機能充実を要望する。今後は、社会情勢の変化や時代の潮流に的確に対応し、計画を進めてもらいたい。老朽公共施設の適正な維持管理について市民が共有できるよう取り組みとともに、厳しい財政状況に鑑み、財政規律をより強化し、持続可能な財政構造の確立に努めるよう要望する。

決議（要旨）

■新高岡駅への「かがやき」定期便化に関する決議

平成28年春のダイヤでは、新高岡駅へのかがやきの定期便化は見送られた。官民を挙げて積極的に取り組みを進めてきたが、現在は臨時便のかがやきが1往復するのみにとどまっている。

JRに対し、新高岡駅へのかがやき定期便化を求めるためには、乗降客数の増加は必要不可欠である。現在、一人一客・一人一乗車運動により、新高岡駅の乗降客数の増加に努めているところであるが、具体的な利用促進策にこれまでに以上を全力を挙げて取り組まなければならない。

新高岡駅へのかがやき定期便化は、県西部のみならず、飛越能地域全体の経済・産業・流通の振興・発展に大きく寄与するものである。

よって、新高岡駅へのかがやき定期便化に向けた運動を、市民をはじめ関係自治体や経済界と一体となり強力に推進するとともに、JRに対して強く要望する。また、国会及び政府に対しては、その支援を強く求め、その取り組みに全力を尽くすことを決意するものである。

- ◇駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業団地造成事業会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………全会一致で可決
- ◇後期高齢者医療事業会計……………全会一致で可決
- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業用水道事業会計……………全会一致で可決

■最終日追加提出議案

人 事

- ◇副市長の選任……………全会一致で同意
- ◇人権擁護委員の推薦（4件）……………全会一致で同意

議員提出議案

- ◇北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書……………全会一致で可決
- ◇医療機関等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書……………全会一致で可決
- ◇介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める意見書……………全会一致で可決
- ◇奨学金制度の充実等を求める意見書……………全会一致で可決
- ◇2017年4月の消費税増税中止を求める意見書……………賛成少数で否決
- ◇安全保障関連法案の強行採決に抗議し先の国会で成立した安全保障関連法の廃止を求める意見書……………賛成少数で否決
- ◇新高岡駅への「かがやき」定期便化に関する決議……………全会一致で可決

請 願

- ◇国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願（消費税をなくす富山県の会 代表者 水谷 敏彦）……………賛成少数で不採択
- ◇若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書提出を求める請願（全日本年金者組合高岡支部 支部長 小谷 一郎・書記長 彼谷 肇）……………賛成少数で不採択

代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民同志会
酒井 立志

ポスト新幹線の予算方針は

問 平成28年度以降は新幹線開業効果を継続させ、さらに加速化させることが重要と考えるが、ポスト新幹線となる28年度当初予算の基本的な考え方は。また、どこに重点を置き、予算編成を行ったのか。



県西部6市で祝福 北陸新幹線開業1周年

市長 新幹線開業と地方創生の流れを追い風として、まちづくりを次のステージへと踏み出すため、28年度予算を高岡新時代、未来高岡へのステップアップ予算と位置付け、「未来高岡」総合戦略に掲げる施策や新たな総合計画を効果的に展開するための取り組みを予算化した。特に、都市機能の集積による拠点性の向上を図ることが重要と考え、高岡駅前東地区の富山県高岡看護専門学校施設の整備など、都心軸上の都市機能の配置に重点を置いた。

共感できるテーマを

問 連携中枢都市圏を実現するためには、本圏域に住む市民が共感できるテーマを考えていく必要があると考えますが、見解は。

市長 本圏域が高速道路や鉄軌道、港湾等が集結する交通結節点であり、国内のみならず日本海沿岸諸国も視野に入れた広域的な交流拠点であるという特色を活かし、環日本海の中核拠点となることを目指したい。

指したい。圏域づくりの基本方針として、圏域の人、強み、つながりの3つを活用、充実することを大きな柱とし、各分野で具体的な連携事業に取り組みたいと考えている。都市圏ビジョンの策定に当たっては、これら基本方針を柱に、圏域住民の意見を聞きながら共感できるテーマとして磨き上げ、地域住民の幸せを実現する圏域づくりの形成を図ってきたい。

新幹線利用者拡大に向けて

問 北陸新幹線新高岡駅の利用促進について問う。

(1) 飛越能地域全体の発展のためにも、かがやきの停車は不可欠である。新高岡駅へのかがやき定期便の実現に向けての意気込みと決意は。

(2) 新高岡駅の利便性向上のため、さらなる駐車台数の確保や駐車場の拡張も検討すべきと考えるが、駐車場条例の一部改正の提案に至った経緯と、今後の駐車場対策は。

市長 (1)開業2年目はかがやき定期便の停車に向けた正念

場であり、開業から1年間を通して臨時便が継続運行された実績と、平成28年春からの臨時かがやきの継続を今後の取り組みへの大きな励みとし、利用促進に全力を挙げ取り組みたい。県西部6市が連携した旅行商品の造成・販売等による誘客施策や、飛越能エリアの玄関口となる新高岡駅を起点とした周遊ルートを首都圏等にPRするとともに、宿泊施設とレンタカー等とを合わせた旅行商品を造成するなど、エリア全体の認知度を高め、開業効果を一過性のものとするだけでなく、さらなる交流人口の拡大を図りたい。

都市創造部長

(2)新高岡駅周辺の利用促進は、新幹線利用後の割引金額や利用料金が駐車場によって異なることによる不公平感や料金体系の分かりにくさ等の課題があり、公平かつ適切な負担感で利用できるよう、利用区分や料金体系などを見直すこととした。駐車台数の確保については、「北陸新幹線新高岡駅(仮称)周辺まちづくり計画」において、大阪開業に向けて約700台を拡張整備する方針としているが、敦賀開業に向けた段階的な拡張計画も必要と認識している。開業2年目の利用動向等も見ながら、計画に基づ

き整備計画を鋭意進めたい。

未来高岡の実現を

問 第2次基本計画を継承した新たな総合計画基本構想の策定においては、行政と市民が一体となって未来高岡の実現に取り組みが必要だと考えるが、まちづくりの方針は。

市長 平成27年10月に策定した「未来高岡」総合戦略は、若者や女性が夢や希望、生きがいを持っていきいきと暮らせる、高岡ならではのまち・ひと・しごと創生を市民や企業、行政などが一体となって推進する文化創造都市の共創を目指している。この戦略は、総合計画で定めるまちづくりの方針の先導的役割を果たすものであり、新たな総合計画では、総合戦略の基本目標やキープロジェクトを実践し、まちの将来像を、豊かな自然と歴史・文化につつまれ人と人がつながる市民創造都市高岡としたいと考えている。この将来像を踏まえたまちづくりのゴールイメージを17の目指すまちの姿として示し、実現に向けた政策の展開を図りたい。また、遂行に当たっては、共創、再発見、発信の観点を旨に、総合的・横断的に取り組みたい。

個別質問

今定例会では、13人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



本田 利麻
自民同志会

公共施設の適正管理

公共施設等総合管理計画を策定することによって得られる市民のメリットは。

経営企画部長 公共施設等総合管理計画に基づく施設の集約化・複合化、転用に対しては、交付税算入のある有利な地方債が発行できる。また、公共施設の除却に対しても、地方債の発行が可能となっている。特例措置を活用しながら、施設総量の適正化を進めることで、将来的な施設の維持管理経費に係る市民負担の軽減につながると考える。

市民会館の今後の方針は

市民会館について、いつまでに現況等調査を終え、どのように調査結果の情報を発信していくのか。

教育長 市民会館の現況等調査は、平成28年度の早い時期に着手し、28年の秋頃を目途



現況等調査を実施する市民会館

に調査を終えたい。調査結果を踏まえ、安全性の確保に必要な措置や今後の継続使用等について検討を進め、28年内に今後の方針を出したいと考えている。調査結果及び今後の方針については、市の広報紙やホームページをはじめ様々な広報媒体を通して、市民への周知に努めたい。

土曜学習の拡充は

土曜学習について、中学

校への拡充予定は。また、今後、どのように土曜学習を展開していく予定なのか。

教育長 中学校の土曜学習は、全中学校の1・2年生を対象に、平成28年度から生涯学習センターで、月1回年間10回程度を基本として実施したい。中学生が休日を通り過ぎる際の受け入れ態勢の一つとして実施したいと考えており、各校区から中学生が集まって学習することで、学習意欲の向上を期待している。



大井 正樹
自民同志会

農業所得の向上に向けて

TPPの署名を受け、今後の農業政策について問う。

(1) コメの直接支払交付金が平成30年には全て廃止となる中、所得補てんに該当する交付金制度の新設や所得安定への取り組みが本市でも喫緊の課題と考えるが、見解は。

(2) 水田をフル活用する施策を進める中、本市ではどのよう

な作物を生産体系として図り、所得の向上につなげるべきと考えるか。

(3) 農作物に対する保護政策や経営所得安定対策では、この確立を確かとするため、国が作成し、政策に盛り込むべきと考えるが、本市の見解は。

市長 (1) 農業者の意欲を持続させることに配慮した、骨太の思い切った経営所得安定対策等が盛り込まれた制度の構築を、全国市長会等とともに、国に要望したい。また、本市では、さらなる足腰の強い農業基盤の整備を検討するため、産業振興部内にワーキンググループを立ち上げている。

産業振興部長 (2) 需要に応じた美味しいコメ、売れるコメの最大限の作付けを推進する。併せて、加工用米・飼料用米等や、麦・大豆の生産拡大に取り組みたい。また、園芸作物との複合経営も重要であり、軟弱野菜などの条件整備等への支援事業に加えて、6次産業化の推進や、農業者と企業とのマッチング会の開催などにも取り組んでいる。

市長 (3) 国では、農林水産業の分野で、経営安定や安定供給へ備えた措置の充実等を図るとしており、これらが確実に実施されるよう、全国市長会等とともに、国に要望した



中山 欣一
市政高岡

高岡中央駐車場の活用を

新高岡駅周辺の駐車場不足解消のため、新幹線利用者を対象に駐車料金を無料化としている高岡中央駐車場の利用を促すことが、車と公共交通との共存共栄につながると考えるが、見解は。

都市創造部長 新高岡駅へのアクセスについては、公共交通の利用が低い状況である。繁忙期の駐車場対策及び公共交通の利用促進を目的に、引き続き新幹線利用者への高岡中央駐車場の無料化を実施する。広報紙等でのPR等を行い一層の利用促進に努めたい。

福祉人材育成の取り組みは

福祉人材の育成を図るため、介護職の魅力発信や介護関係資格の取得支援制度導入など、ソフト面を充実させるべきと考えるが、見解は。

福祉保健部長 地域密着型サ

ービス事業者を対象に、スキル向上等を目的に独自の研修のほか、本市職員を講師として研修に協力している。今後とも、福祉人材の育成を図るための各種研修の充実に努めるとともに、国・県と連携・協働しながら、介護人材育成への取り組みに努めたい。

児童生徒への主権者教育

副 義務教育での模擬投票の実施や討論の場を設ける等、主権者教育の充実・環境整備が必要と考えるが、見解は。

教育委員長 日常的に社会や政治に関心を持ち、主権者としての素養を身に付けるには、義務教育段階から主権者教育を行うことが重要である。模擬投票や、児童会・生徒会活動、出前講座等の活用など、各学校への指導に注力したい。将来、良識ある大人となり、主権者として主体的に政治に参加できるように、より実践的な主権者教育を進めたい。



中 一夫
自民同志会

認知症高齢者への対策は

副 認知症高齢者に対する取り組みについて問う。



高岡医療圏内での設置が求められる認知症疾患医療センター

(1)認知症高齢者への早期な対応を図るため、認知症疾患医療センターが高岡医療圏内に必要と考えるが、見解は。
(2)平成28年度の市民後見推進事業費の予算案が前年比の倍額となっているが、具体的な拡充内容は。
市長 (1)認知症の支援は、症状が早期の段階での専門医療相談をはじめ、医療と介護の各関係機関が適切な連携に努めることが重要であるため、認知症疾患医療センターの実施主体である県を交え、医療機関等で構成する検討会を設け、検討している。認知症疾患医療センターの役割や機能について認識を共有し、29年度内に市民病院でのセンター設置を目指したい。

福祉保健部長 (2)28年度は、従来2カ年で実施してきた市民後見人養成講座を見直し、認知症等の対象者の理解や申し立て書類の作成演習等、より実践的な研修内容に統合・充実し、1年間のカリキュラムとした。また、弁護士等による(仮称)市民後見推進委員会を設置し、講座受講者が新規担い手として活動できる支援体制づくりにも努めたい。

理解ある助成制度を

副 平成28年度からの不妊治療助成制度の変更により、助成対象外となる夫婦に対し、子どもを出産された場合には、市独自の助成を実施しては。

福祉保健部長 県に準じ、妻の助成対象を42歳までとした。対象外の夫婦への助成は、リスクの高い高齢での妊娠・出産を推奨することにつながる恐れがあることから難しいと考える。リスクを推奨することにつながる支援の仕組みについて検討したい。



金平 直巳
日本共産党

認知症患者への支援拡充

副 認知症対策として、認知

症疾患医療センターの早期設置に向けた平成28年度の取り組みへの決意は。
市長 高岡医療圏内の認知症疾患医療センターの設置は、重要な課題と考えており、医療機関等で構成する検討会を設け、検討している。28年度では、高岡医療圏内における認知症疾患医療センターの役割や機能の認識を共有し、関係機関との連携体制等について検討を進め、29年度内に市民病院での認知症疾患医療センター設置を目指したい。

通学路の安全確保

副 市民から要望の強い、子どもたちの安心・安全の確保のための通学路の安全対策の平成28年度の強化方針は。

教育長 24年度に通学路の緊急合同点検を実施し、対策を講じてきたところである。各学校では、日頃からPTAや学校安全パトロール隊などと連携して定期的に危険箇所の把握に努めている。現在、教育、道路、警察等の関係機関と連携を図り、通学路交通安全プログラムの策定に向けて調整を進めている。

マイナンバー制度見直しを

副 マイナンバー制度について、様々なトラブルが市内外

で頻発しているが、制度の見直しや凍結を国に要請しては。
市長 マイナンバー制度は、行政の効率性・透明性を高め、市民にとって利便性が高く、公平・公正な社会を実現するための基盤となることから、着実に推進していく必要がある、運用面・システム面について万全を尽くしたい。また、地方公共団体情報システム機構には障害の再発防止対策を講じてもらうとともに、国に制度周知の徹底を要望したい。



上田 武
社民党議員団

財政健全化に向けて

副 少子高齢化や人口減少を踏まえ、次世代に負担を押し付けたくないよう、中長期的に見た本市の財政構造の見直しと健全化への課題は。

経営企画部長 歳入面では、市税の伸び悩みなど、一般財源の確保が厳しい状況にある。歳出面では、公債費・扶助費の増加など、財政構造の硬直化が懸念される。このため、強い地域経済をつくることも、持続可能な財政構造の構築に取り組んでいく。市債については、発行額の抑制と残

高の縮減に努め、将来世代への責任を果たしたい。

企業誘致の一層の強化を

■ 企業誘致による平成27年度の企業進出数と雇用創出の実績は。また、28年度の目標と達成に向けた決意は。

市長 高岡オフィスパークで2社2区画、四日市工業団地で1社1区画を分譲した。また、企業立地助成金の交付対象企業18社で、市民64人の新規雇用が創出された。今後は、市外企業へ積極的に訪問し、企業の進出に結び付けたい。私自身が先頭に立ち、本市の優れた立地環境や充実した助成制度をPRし、企業立地促進に果敢に取り組みたい。

道路側溝の安全対策

■ 道路側溝転落事故で行政の管理責任を認めた最高裁判決を踏まえて、本市では、どのように道路側溝の安全対策に取り組んでいくのか。

都市創造部長 転落時の危険性が高い箇所から、蓋掛けや転落防止柵等の対策をしてきた。今後も、道路パトロールや地元からの情報等により危険箇所の把握に努めたい。そのうえで、通学路などを中心に、地元関係者とも相談しながら、対策を進めていきたい。



横田 誠二
自民同志会

地域に寄り添った除雪対策

■ 各小学校校区に貸与するための小型除雪機械を増設してはと考えるが、見解は。

都市創造部長 高齢化等に伴い除雪の要望は強まっており、除雪経費の増大を抑制しつつも、きめ細やかな対応が必要であることから、小型除雪機による地域ぐるみ除排雪事業が重要だと認識している。増設の要望があれば、地域の状



地域の要望に応える除雪対策を

況を見ながら検討したい。

歳入確保への取り組み

■ 自治体事業にクラウドファンディングを導入しては。また、民間団体のクラウドファンディング活用への支援も進めてはと考えるが、見解は。

経営企画部長 新たな財源確保に有用な手段であるクラウドファンディングは、ふるさと納税の活用メニューである平成の御車山制作で既に実施していると考える。また、市民団体等のクラウドファンディング活用は、活動資金の調達手段の拡大や賛同者の増加等による市民活動の活性化が期待できるため、支援について研究していきたい。

時間短縮への働き掛けを

■ 北陸新幹線は技術的にスピードアップの余地があると報道があったが、時間短縮に資する運転速度見直しに向け、JR等への働き掛けなど何らかの行動を起こしては。

都市創造部長 JRは、「最高速度やブレーキ性能の車両条件、勾配や曲線等の線路条件等を考慮して所要時間を算出しており、現在設定している時分が最適」との見解であり、安全性確保や沿線住民の生活環境にも十分配慮が必要と考

える。かがやき定期便化と併せ、はくたかの利便性を高める視点からのダイヤ編成について、機会を捉え要請したい。



野上 達夫
社民党議員団

魅力ある商品開発

■ 6次産業化の推進は、農業の競争力強化のためにも重要であると考えますが、現状を踏まえた今後の取り組みは。

産業振興部長 21農業者が加工品開発や農家レストランの経営等を行っている。平成28年度は2事業者が商品開発に取り組んでおり、専門家の派遣や、新たな農産加工物の開発に対して支援している。今後とも、関係機関と連携しながら農業者を支援し、農商工連携を推進するなど、国・県・市の施策を活用しながら、農業所得の向上を図りたい。

教育行政の推進

■ 教育行政について問う。
(1)本市においても総合教育会議を設置し、平成27年12月には教育大綱の策定が行われたが、教育改革の評価は。

(2)障害者差別解消法が28年4月から施行されるが、本市と

してどのような取り組みを行うのか。

市長 (1)子どもたちの育ちを切れ目なく見守ることや、自己実現を目指す環境づくりを進めたいと考えている。また、郷里に誇りと愛着を持ち、未来を見据えた人づくりの視点を置くことが肝要である。総合教育会議では、このような思いを教育大綱に盛り込むことができたと考えている。

教育長 (2)就学について、障がいのある児童生徒や保護者の教育的ニーズを可能な限り尊重し、総合的観点から決定するなど、不当な差別的取り扱いとならないよう十分配慮したい。学校現場では、個々の児童生徒の障がいに応じた指導や支援に力を入れるよう各学校に指導したい。また、複数の教員による指導や、スタディ・メイトの個別支援の充実など、きめ細やかな指導の一層の推進に取り組むたい。



吉田 健太郎
公明党

交通対策の早急な実施を

■ 交通不便・空白地域の改善は、総合交通戦略の長期戦略に位置付けられている。前

*クラウドファンディング：ある事業や目的のために、主にインターネットを利用して不特定多数の人から資金を集める行為。

倒しをして推進すべきでは。
都市創造部長 地域バスや地域タクシーへの支援など、実施可能なものから取り組みたい。今後、本市が目指すコンパクト・アンド・ネットワークによるまちづくりを進めるため、運行ダイヤ等の改善などサービス面の充実だけではなく、まちなか居住施策等の推進など、まちづくりと一体となつて相乗効果が期待できる施策の展開を検討したい。

地域の主体性の醸成を

図 あつかりライフ支援システムの構築に当たり、地域の主体性をどのように育むのか。
市長 システムの構築を目指すための推進組織として、新たに1名ずつ配置した生活支援コーディネーターを中心に、市内全域11の地域包括支援センターごとに、支え合う地域づくり会議を立ち上げた。この会議を通じ、専門職等を含め、医療や介護、予防など必要な支援を地域の中で包括的に完結性を持って提供できる仕組みづくりを進めている。

手厚い浸水対策を

図 道路冠水対策の進捗状況は。また、床下浸水が発生する地域へも対策を講ずるべきと考えるが、平成28年度以降

の具体的な取り組みは。
都市創造部長 24年度の豪雨によって浸水被害が発生した16地区で側溝改修を実施しており、27年度までに10地区が完了する予定である。残る6地区でも着手しており、28年度は、3地区の改修が完了する予定である。今後は、新たに浸水被害が発生した地区などで、老朽化した側溝等を改修していきたい。



中川 加津代
自民同志会

女性の活躍推進のために

図 女性が活躍しやすい環境づくりについて問う。
市長 (1)女性活躍推進法が平成28年4月より施行されるが、女性の職業生活における活躍推進についての本市の基本的な考え方は。
(2)働きやすい環境づくりとして、市民病院に病児対応型保育室を設置しては。また、院内保育所の設置も検討しては。

市長 (1)男女を問わず、個性と能力を十分発揮し、自らの意思によってあらゆる分野に参画し、喜びも責任も分かち合う社会が望ましいと考えている。この法律では、女性の

職業生活における活躍に関する推進計画の策定が求められており、次期男女平等推進プランと一体として策定したい。
市民病院事務局長 (2)28年度には、多機能型保育調査事業が実施され、24時間保育やシヨートステイ、院内保育、休日一時預かり、病児保育等の多様なニーズに対する提供体制が検討される。多機能型保育が、本院の医療スタッフにも利用しやすい内容となるよう検討し、働きやすい職場環境の充実に努めたい。

適切な基金活用プランを

図 子ども・子育て基金の活



子ども・子育て基金の有効な活用策を

用プランを決定するプロセスは。また、今後の基金を活用する事業の長期的な展望は。
福祉保健部長 基金活用事業は、子ども・子育て支援事業計画に搭載した事業から、優先度、緊急度や国・県等の財源確保の見直しなどを勘案し、財政部局とも調整を図りながら決定している。子ども・子育て基金は、中長期に渡って計画的に実施する必要がある事業等に活用していくこととしており、28年度は休日一時預かり事業や病後児対応型保育事業等を予定している。



永森 茂
自民同志会

土地区画整理事業の推進

図 (仮称)志貫野土地区画整理事業について問う。
(1)事業の概要と進捗状況、当面のスケジュールは。
(2)通常の組合施行土地区画整理事業への支援策に加え、土地利用関連促進道路事業を行うこととした背景は。

都市創造部長 (1)本事業は、市民病院と国道8号の間に位置する約6・8ヘクタールの区域の中で、道路や公園等の整備と併せ、約230区画の宅

地供給を行い、良好な市街地環境の形成を図るものである。当地区では、これまで試調査・事業計画の策定等を実施しており、現在、組合設立認可の申請準備を進めている。また、平成28年5月の組合設立を目標とし、27年度内には埋蔵文化財の本調査や造成工事に着手する予定である。

(2)土地利用関連促進道路事業は、市主体で道路整備を行い、民間主体の計画的な市街地整備の誘導、促進を目的としている。当地区は圃場整備がなされておらず、不整形な土地が多いため、面的な市街地整備と一体的に道路整備に取り組みが必要があり、本事業を実施することとしたものである。

中心市街地にぎわい創出

図 第2期中心市街地活性化基本計画での、これまで4年間の評価と残された課題は。

産業振興部長 北陸新幹線開業効果もあり、多くの観光客が中心市街地を訪れるようになった。まちなか居住は増加していないが、中心商店街の空き店舗数は減少傾向にある。今後、高岡駅前東地区の複合ビルの開業や末広町西地区再開発事業を進め、中心市街地にぎわいづくりのため、日常的に来街者を増加・滞留さ



石須 大雄
社民党議員団

せる取り組みが必要だと考えている。

利用促進に向けた周知

■ 新幹線利用者の高岡駅間のアクセスについて問う。

(1)新幹線利用者の駐車料金を無料としている高岡中央駐車場について、さらに1年間無料割引を継続するが、市民への周知方法は。

(2)高岡駅と新高岡駅間を10分間隔で運行するバス・シャトル6の存在を知らない市民や観光客に対して、周知をどの

ように行うのか。

■ **都市創造部長** (1)ホームページの新高岡駅周辺駐車場の満

車空車情報に新たに高岡中央駐車場を追加するほか、中央駐車場無料化の優位性等の情報を提供したい。また、公共施設等でのポスターなどの掲示に加え、新高岡駅利用者等へのチラシの直接配布やイベントでのPRなど、様々な機会を捉えて周知に努めたい。

(2)これまで高岡駅や新高岡駅の改札口やバスターミナルに誘導サイン等を設置するなど、利用者に分かりやすい改善を図ってきた。また、関係団体と連携し、ポケットサイズの時刻表配布等を通じ、周知に努めてきた。交通事業者にお

いても、ホームページ掲載や、シャトル6専用時刻表の配布、バス車体へのPR表示等を通じ、周知に取り組んでおり、今後も交通事業者と連携して、周知に努めていきたい。

観光客の受け入れ態勢を

■ **勝興寺の修理が完了した** 際には、観光客の増加が見込まれることから、伏木駅構内に旅行者を誘致するなど、観光客への対応を強化しては。

■ **産業振興部長** 伏木駅構内の観光案内所については、地元発意により伏木観光推進センターが運営している。観光客の伏木地区への受け入れ態勢については、地元との協議を深め、対応していきたい。

消防団活性化に向けて



坂林 永喜
自民同志会

■ 平成27年度に開始した機能別消防団員と消防団サポート事業の現状に対する評価と、今後の対応は。

■ **消防長** 新たに創設した救急救命団員は意欲が高く、応急手当の普及啓発活動の主たる戦力になっている。また、消防団サポート事業では、全国の消防団員も対象としたことで県内外から注目されている。これらの取り組みが評価され、消防庁長官から消防団等地域活動表彰を受賞した。今後は、応急手当のスキルアップを図るため、応急手当指導員の資格取得推進など資質向上を図るとともに、消防団サポート事業では、アンケートなどにより利用状況等を把握し、登録店の拡充に努めたい。

安心して暮らせる社会へ

■ **住民や警察と協働・連携した防犯対策や地域安全確保対策が重要と考えるが、その実効性を確保するために本市が果たすべき役割は。**

■ **市長** 犯罪が入り込む隙のない

い強固な社会を築くことが重要である。警察や防犯協会等との連携を一層強化し、本市が活動拠点となって、さらなる犯罪抑止と防犯意識の高揚に取り組み、犯罪のない安全で住みよい地域社会の実現を図っていきたい。

児童や高齢者の安全確保

■ **通学路の安全は、児童のみならず、高齢者に対してもやさしいまちづくりにつながる。各地区での通学路合同安全点検の今後の予定は。**

■ **教育長** 現在、高岡市通学路交通安全プログラムの策定に向けて関係機関と調整を進めており、平成28年度より、このプログラムに基づき、各地区における合同点検等の安全対策を進める予定である。



通学路の安全確保で児童や高齢者にとってやさしいまちに

議会日誌

12月定例会後～3月定例会前

- 12月16日 広報広聴委員会 現地視察
- 18日 港湾対策特別委員会
- 1月7日 広報広聴委員会
- 28日 議会改革検討委員会
- 2月1日 建設水道常任委員会
- 9日 民生病院常任委員会
- 12日 経済消防常任委員会
- 15日 総務文教常任委員会
- 22日 議員説明会
- 23日 議会改革検討委員会
- 25日 議会運営委員会
- 25日 正副常任委員長会議

3月定例会

- 3月2日 代表者会議
- 議員協議会
- 本会議(提案理由説明)
- 議案説明会
- 3日 議案説明会
- 4日 本会議(追加提案理由説明)
- 議案説明会
- 7日 本会議(代表質問)
- 9日 本会議(個別質問)
- 10日 本会議(個別質問)
- 11日 議会運営委員会
- 14日 本会議(総括質問)
- 議会運営委員会
- 16日 代表者会議
- 民生病院常任委員会
- 経済消防常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 建設水道常任委員会
- 総務文教常任委員会
- 23日 委員長会議
- 議会運営委員会
- 議員協議会
- 本会議(議案など議決)

総括質問

今定例会では、3人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



福井 直樹
自民同志会

創造性豊かな人が育つまち

問 オタヤこども食堂の取り組みが反響を呼んでいるが、子どもの未来応援事業では、どのような応援が期待されていると考えているのか。また、今後のスケジュールは。

福祉保健部長 現時点の応援対策としては、学習支援や居場所づくり、親の就労支援な



子どもたちが安らげる場所を提供 オタヤこども食堂

どが考えられる。今後、貧困の状況にある子どもや家庭の実態把握、支援ニーズの調査・分析を行い、地域の支援団体等の状況の把握を行ったうえで、平成28年度中に具体的な応援対策を盛り込んだ支援計画を策定したい。

問 高岡市教育大綱に向けた人がまちを創るという考えを、第3次高岡市総合計画にどのように反映するのか。

市長 地方創生の流れの中でも、人の定住や人材の活用、子どもの育ちなど、人は最大のテーマである。新たな総合計画の策定に当たっては、人づくりの考え方を、まちづくりの各分野を貫くテーマとして取り上げ、注力したい。

若い世代の意見反映を

問 共創の指針策定における、今後の本市の未来を担う世代の意見聴取の進め方は。

市民生活部長 指針の策定委員会では、年代を考慮しながら、学識経験者や地縁組織で活躍している人等に委員就任を依頼している。今後、市民参加フォーラムやパブリック



樋詰 和子
公明党

コメントの実施などにより、幅広い意見を得て、共創の指針の策定に反映したい。

投票しやすい環境づくりを

問 若い世代の投票を促すためにも、気軽に投票できるイオンモール高岡等に期日前投票所の設置を検討しては。

選挙管理委員会事務局長 機会を捉え、大型ショッピングセンター内にも期日前投票所を設置しており、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることを踏まえ、引き続き設置に努めていきたい。

ワンストップ拠点の整備を

問 多岐にわたる子育て支援サービスに係るワンストップ拠点を整備し、相談体制を充実しては。

市長 子育て支援全体のワンストップ化を進めるには、物的、人力的な対応等の課題もあるが、妊娠、出産や子育て

女性登用の推進体制は

中の方々などの不安を取り除くため、引き続き、できる限りの努力をしていきたい。

問 女性が将来指導的立場へ成長していく取り組みの啓発が必要と考える。女性登用を進めるため、多くの人材を育成する体制を推進しては。

市民生活部長 本市では、男女平等推進プランに基づき、女性の能力開発・育成の促進に取り組んでおり、関係機関との連携により、キャリア形成支援セミナーやフューチャーセッション講座の開催などを行っている。引き続き、セミナーの開催や情報誌による情報発信、意識啓発などに取り組み、女性の登用が一層促進されるよう努めたい。



盤若 進二
自民友進会

効果的なまちなか居住対策

問 まちなかの空洞化を防ぐため、まちなか住宅取得支援事業助成金の対象区域を、同区域の外周にある準防火地域までに拡大するべきでは。

副市長 まちなか住宅取得支援事業が位置付けられた中心

市街地活性化基本計画の第2期計画の期間が平成28年度までとなっており、同計画の取り扱いを協議する中で、助成金の対象区域の範囲についても検討したい。

問 高齢者のまちなか居住を促進するため、65歳以上の高齢者が住宅リフォームを実施する際の支援制度を新たに設けては。

市長 平成26年度以降、まちなか地域では、高齢者も含めて、バリアフリーリフォーム補助や耐震改修補助、エコリフォーム補助を実施している。今後も関係部局間で連携し、既存支援制度の周知に努めるとともに、新住宅マスタープランを策定する過程で支援制度のあり方について検討したい。

地域資源の活用・発信を

問 呉西地区の曳山を本市に一堂に集める曳山フェスティバルを開催しては。

市長 県西部6市全てで曳山行事が行われており、圏域の貴重な財産である。また、団体旅行企画として県西部の祭りを巡るツアーを複数企画されている。今後は、城端曳山祭と共にユネスコ世界無形文化遺産登録を目指していることも関連させ、連携について関係各位と協議検討したい。

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次のような観点から当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆福岡駅前土地区画整理事業には、合併後10年間発行資格のある合併特例債が充当されてきたが、現在の進捗状況は。◆本市出身の学生のための学生寮を運営している公益財団法人高岡市荻布学生寮では、現在、寮の建て替えが検討されているが、建設に向けての新たな助成は考えているのか。◆臨時財政対策債の元利償還金が100%基準財政需要額に算入されるということは、その元利償還金の全額が後年

度に国から普通交付税として交付されるということか。

○民生病院常任委員会

◆健康づくり推進対策事業費では、ウォーキングマップを活用した教室の開催などを実施している。生活習慣病が増加する中、運動の習慣化が重要であると考えるが、現在の取り組みは。

◆産後ケア事業で、国から補助を受けるために必要となる子育て世代包括支援センターの設置について、運営体制や開設時期などの検討状況は。

◆市民病院の経営改善には、優秀な医師の確保や高度医療機器の導入が効果的であると考えるが、今後の方針は。

○経済消防常任委員会

◆歴史的資産を活用した町屋



高岡の鋳物技術で再現 国宝法隆寺釈迦三尊像

再生事業で整備する施設は、平成29年春開業予定とのことだが、その具体的内容は。◆企業誘致に向け、数多くの企業を訪問しているとのことだが、情報を得るなどの成果は上がっているのか。また、

他の部局とも連携した企業誘致、工業振興対策を講ずるべきと考えるが、見解は。

◆消防ポンプ自動車2台分の購入費として、2300万円が計上されているが、全体計画として、古い車両全ての更新は何年後に完了するのか。

○建設水道常任委員会

◆市街灯などの蛍光灯を、順次LED照明に取り替えているが、平成27年度の進捗状況は。また、今後、どのように取り替えを進めていくのか。

◆通学路の安全確保には、歩車分離を図る整備が効果的と考えるが、歩道の整備計画は。

◆全国的にも住宅リフォームの助成制度を設ける自治体が増えている。住宅リフォームの助成制度を拡充することで、市内の中小業者への仕事

の発注が増加するとともに、人口の流出を防ぐ効果も期待できると考えるが、見解は。

編集後記

北陸新幹線開業後1年となる平成28年3月定例会においては、県西部と飛越能地域の玄関口としての新高岡駅の役割の確認と検証を行ったほか、速達タイプかがやきの新高岡駅停車実現に向けた運動継続を議会として決議するなど、ポスト新幹線に向き合った議会でした。また、新年度となる28年度予算には、新幹線効果を最大限活かす施策や、人口減少社会への施策等が盛り込まれました。

ますます市民の皆さまと行政とが一体となって、未来の高岡市のためにポスト新幹線のまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。今後も市議会と行政当局とが力を合わせて市民の皆さまの笑顔のために頑張ってください。

(坂林 記)

★編集委員

◎曾田、○坂林、石須、横田、藪中、吉田、中山、盤若、酒井、金平

(◎委員長 ○副委員長)

6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、6月1日(日)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

9日(日)	10時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
13日(木)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議(個別質問)
14日(金)	10時	本会議(個別質問)
15日(土)	9時	代表者会議
	13時	民生病院常任委員会
	13時	経済消防常任委員会
16日(日)	13時	建設水道常任委員会
	13時	総務文教常任委員会
17日(月)	10時	議会運営委員会
22日(土)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
27年 6月	35人	3人
27年 9月	25人	2人
27年 12月	97人	0人
28年 3月	31人	0人